

平成29年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
6	6款2項2目 林業総務費	西山杉利活用推進事業

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 <small>町民ニーズ</small>	21	面積の90%以上が山林である西川町にとって、その資源を活用するというのは当然必要なことである。
2 妥当性 <small>町が行わなければならないか</small>	18	町が単独で進めて行ける事業ではない。西山杉利活用コンソーシアムにおける検討をふまえ、関係機関や事業所、住民と十分に連携しなければならない。
3 効率性 <small>事業手法の効率はよいか。コスト削減の余地はないか。</small>	11	限られた予算に基づく事業としては効率的に進められているが、そもそも本格的な事業推進の道筋が見えないため多くの予算を必要としていないだけのことである。
4 成果 <small>目標の達成状況</small>	10	話し合いや講演会を何回行ったかということをも成果指標としているうちは、本事業の本当の成果が見えてきたとは言い難い。そこでどのようなことが話し合われ、事業の目的に沿って、どのようなモノやコトが創出されたのかという点が重要である。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	1 きわめて良好である 100点	60
	2 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	検討が進められ、西山杉の利用促進という意識醸成が図られてきているという点は理解するが、それをふまえた上で目に見える「利活用」という成果が確認できるように事業を加速させるべき。
	2 現状のまま維持する	
	3 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
<ul style="list-style-type: none"> ・事業としての必要性や妥当性が高いと評価しているため、全体評価は「おおむね適正」となったが、その評価点どおりの成果であるとは言えない。 ・公共施設や一般住宅への活用により、住民はもとより町外へのPRにもなる。 ・具体的な動きとしての「連携」があまり見られない。 ・山林が寂れ、廃れていけば町も同じように衰退していく。大きな視点で利活用を図ることを関係者が一体となって真剣に考えなければならない。 ・本事業と合わせて木質バイオマスの活用を現実のものとするための取組みを実施すべきである。